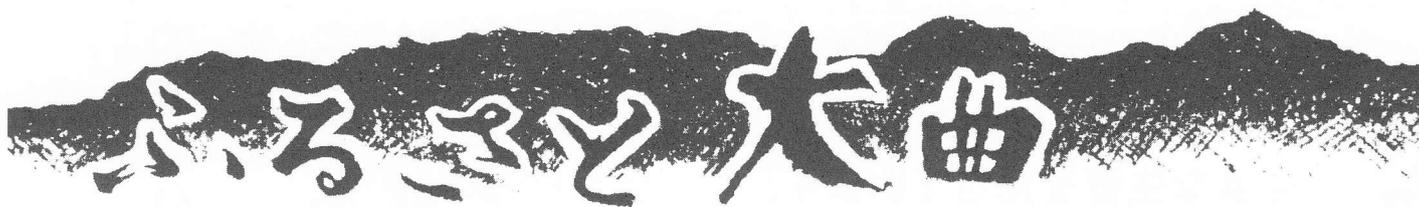


首都圏大曲会会報 第13号



題字 澁谷一男

平成24年8月発行 発行所: 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-1-7-304 教育情報プロジェクト気付 首都圏大曲会事務局
電話 03(5213)2028 FAX 03(5213)2029 eメール: info@e-prosjp.com http://www.supportlife.info

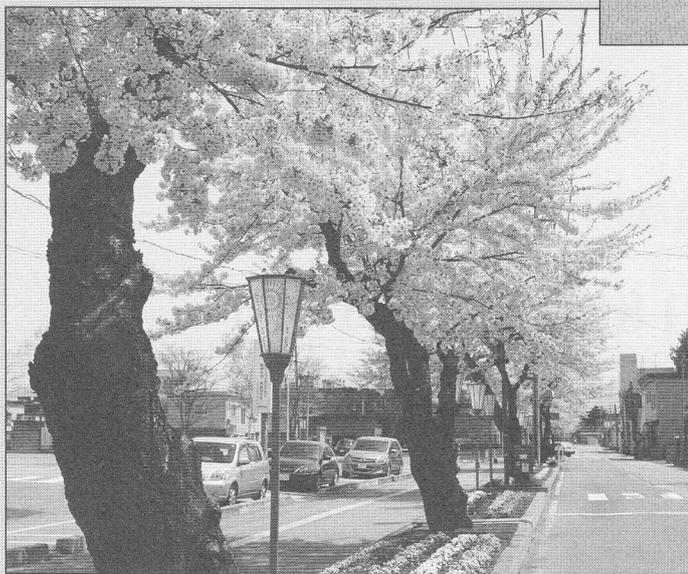
秀麗鳥海山(雄物川堤防より)



さなぶりの原

そして花火の夏が やって来る! 大曲

首都圏大曲会会報 第13号

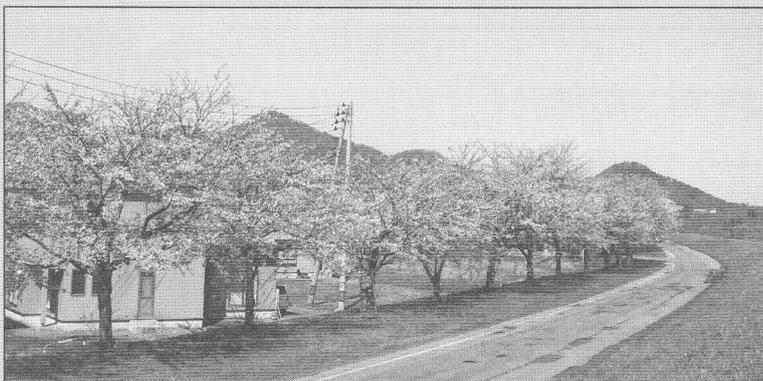


大仙市役所前の桜並木

大曲なかよしウォーキング



咲き始めた河原町の桜



秋田県特別栽培農産物認証

アキタコマチは今年も 見事な生育を見せています。

世紀の節目である西暦2000年(平成12年)、私は「伊勢神宮新嘗祭献穀田」を斉行する機会を与えていただきました。これを契機に、自然環境と食の安全には特別の関心を払う米づくりに目覚め、これまでも増して努力しながら今日に至っております。

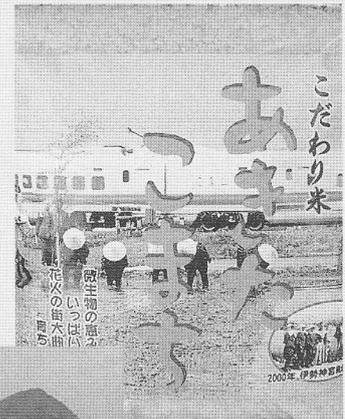
ここで初めて「内城菌」に出会いました。画期的なパワーを発揮するこの菌は、従来厄介者として扱われてきた食物、魚肉、野菜等から出る生ゴミを、有機肥料としてリサイクルします。これによって土壌は生まれ変わり、植物は栄養分を吸収し易く、ここに有機肥料による「内城菌農法」が可能となります。私のこだわりは、この肥料を使って生産する有機米です。

「内城菌」の使用によるこのリサイクル農法は、私たちに食の安全と喜びを与えてくれます。これからも「私のこだわり米」に取り組み、豊かな大仙市の大地を後世に引き継いでまいります。

佐藤 久男

大好評です
ただ今ご注文受付中!

《安全・安心》
味と食感が自慢の
有機米アキタコマチ
生きる だから
内城菌。パワーが
こちしるき



(内城菌の散布)

【ふるさとのアキタコマチ】Fax注文票

ご注文Fax番号⇒ 0187-62-5614

特別栽培こだわり米	5 kg袋	10 kg袋	30 kg袋
①減農薬 化学肥料不使用 (内城菌有機肥料のみ散布土壌)	3,000 円 (個)	5,000 円 (個)	13,000 円 (個)
②減農薬 化学肥料40%使用 (内城菌有機肥料+化学肥料散布土壌)	2,300 円 (個)	3,800 円 (個)	10,000 円 (個)
ご注文合計数	(個)	(個)	(個)

ご住所⇒ 〒

お名前⇒

電 話⇒

* いずれも送料は当方で負担します。数量に限りがありますので品切れの際はご容赦願います。

〒014-0103 秋田県大仙市高関上郷字高屋敷42 生産・販売者 佐藤 久男

電話0187(66)1702 Fax0187(62)5614

大曲の話題

平成24年度
大仙市の予算

〔だいせん日和〕

予算特別号より

予算とは、市の一年間の収入と支出の計画であり、まちづくりの設計図といえます。市の予算は大きく分けて、「一般会計」（市民の生活全般の施策に関する会計）、「特別会計」（企業会計）（一般会計に対し特定の事業に限定した収支による経理）の三つに分かれています。

大仙市の場合、一般会計予算は、高齢者福祉や自動福祉、保健衛生、道路整備、ゴミ処理、学校教育、消防などに使うお金をまとめたもの。

「特別会計予算」は、一般会計とは切り離して、特定の事業ごとに経理する予算。国民健康保険事業や下水道事業など、主に保健税や使用料など、特定の収入で事業を実施します。

「企業会計予算」は、独立予算といった民間企業に似たような仕事をするための予算。大仙市では市立大曲病院事業と上水道事業の二つの企業会計を設置しています。

大仙市は誕生から今年七年目を迎えました。「黎明（れいめい）・確立期」から「発展・成熟期」へ向かったことを今年の予算設計に示して活力ある地域社会の実現を期しています。

○一般会計予算

440億0253万3千円

○特別会計予算

186億9275万0千円

○企業会計予算

23億7405万6千円

○合計

650億6933万9千円

首都圏大曲会会報 『ふるさと大曲』 第13号 目次

□カメラ片手に 大曲の四季 撮影 藤田征一

—— 春から夏への移ろい

□エッセー ふるさとの風 辻 卓也・小笠原幸子・大釜 茂璋

◆活動儿本 第3回 東京で大曲の桜を観る会 夜空に舞う花美しく…

◆第86回 全国花火競技大会（大曲の花火） 今年のテーマは「つながり」 賢木 新悦

昭和24年首都圏大曲会総会・懇親パーティーご案内

日時 8月4日（土） 会場 帝国ホテル「光の間」

颯爽！古宮理絵選手（首都圏大曲会会員）

第6回東京マラソン 早春の東京を駆け抜ける

◇大曲の年代会梵天 NHK総合テレビで全国放映

「ふるさと納税文庫」

市内小中学校に配置 本を読む子に育ってほしい

◆大仙市へ進出企業【訪問シリーズ③】

光学レンズ開発から製造の日邦工業株式会社

■ふるさとの昔つこ

鮭地蔵 文 平野栄司 切り絵 塩谷良二

〈羽ばたく若者たち〉

真打めざして精進する 三遊亭小曲さん

大曲の話題 3 懐かしの道路案内 9 首都圏大曲会幹事 27 編集後記 27

〈大曲のつづき〉

俳句 朱華 仲間を訪ねて 大友律子さん 作詞「こまち物語」 黒皮 羽生

カメラ紀行（絢爛！桜巡りの旅） 齋藤貞助 26 表紙写真 藤田征一



地 元秋田に根ざした
産 物を選びすぐり
地 元のお客様に
消 費していただく

消費者と生産者との
交流をはぐくみ、
地域の活性化に努めます。





春浅い1月の姫神山

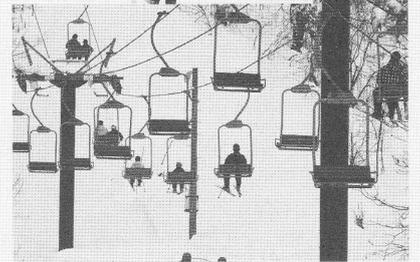
市内から丸子川越しに望む西山の光景は大曲のシンボルだ



白雪に赤い梵天はよく似合う



大曲ファミリースキー場は、雪が消えるまで楽しい歓声が響く



大曲ファミリースキー場で



人は故郷を思い出せば 試練に耐えることができる

誰が言ったかは知らないが、先日、読んだ本に書かれていた。正確には、「苦しいとき人は、故郷を思い出して試練に耐えることができる」というのである。誰にだって長い人生、厳しい試練に直面することは必ずある。そんなときはどうして試練に耐えるか。そっと故郷を思い、心の中で故郷の優しさ温かさに触れ、故郷で過ごした若い日の数々に思いを馳せることで、人間は試練に耐えることができるという。確かにそうだなあと思いつつ故郷を持つ幸せ、故郷を持つ有難さを感じたものだ。

カメラ片手に

大曲の四季

2012年

早春から夏への移ろいを尋ねて

撮影 藤田 征一

今年の冬は豪雪だった。東京に住んでいても秋田の天気気が気になった。かなりの雪が降っている。吹雪いている。気温は零下7、8度などと天気予報のお姉さんが、身をすくめ、声を落として、まるで雪国は人が住むところではないような大げさな素振りで放送すると、妙に腹立たしさすら感じたものだ。

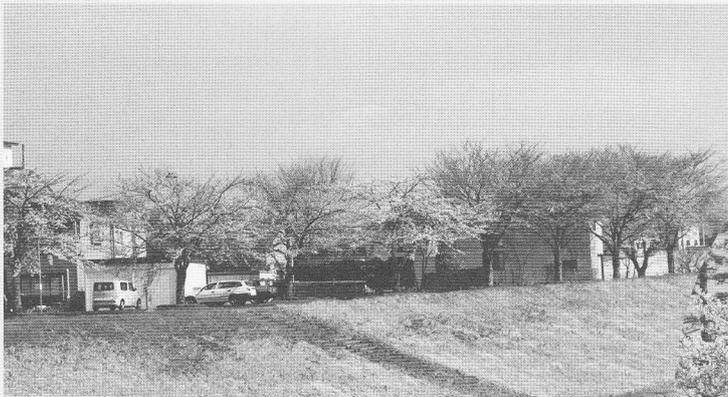
寒いところはそれなりに春を待つ楽しみがあり、雪が多少、などを超越した、雪国の生き方がある。お天気キャスターは、雪国に咲く桜の色の美しさをどう表現するか。雪の消えた野原で、元氣一杯サッカーボールを蹴りあう子ども達の表情を何と言って伝えるのだろうか。(大釜)



豪雪のこの冬は春先でもこの状態



市役所前は、大曲の桜の名所だ



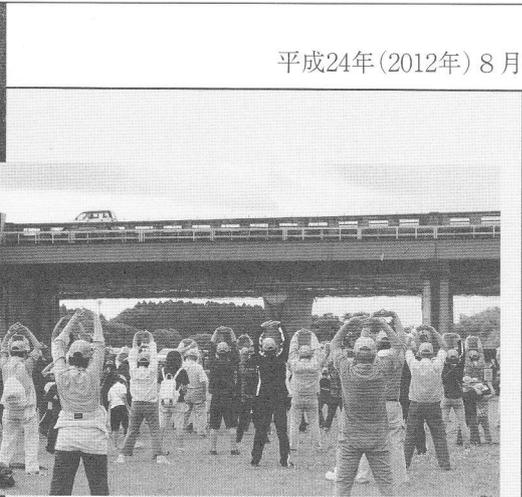
丸子川越しに黒瀬の堤防を望む



大川寺裏から見る対岸の桜



交流センター前の桜は伸び伸びと枝を張っている。濃さを増す芝生の緑と競うように桜は満開のときを迎える



準備体操をして出発だ

みんなでわいわい 雄物川河川を歩く

大曲なかよしウォーキング

「大曲なかよしウォーキング」は、健康秋田全県一斉ウォーキングデーの一環として、毎年実施されている。10キロ、5キロ、3キロの各コースに別れ、金谷橋下の雄物川河川緑地運動公園をスタート・ゴールにして、家族が揃って参加できる楽しいイベントだ。家族みんなが参加できる大会って本当に素晴らしい。



話し声も賑やかに足取りは軽い

待っていた春。蹴られたボールは高くはなれて、子ども達は春を満喫する



春だ！ サッカーだ！

グラウンドの芝生はまだ緑が少なく茶色を帯びているのに、ボールを追って走る少年たちは生き活きと元気一杯。北国の子ども達は全身で春を吸い込み、春の風の中に生きる。



おや、小林先生



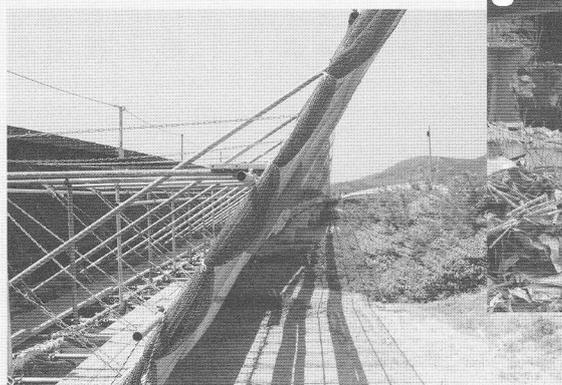
おんぶでウォーキング？



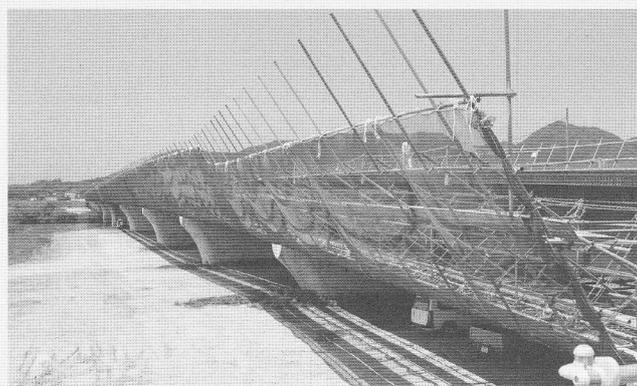
10キロコース、5キロコース、3キロコースとそれぞれスタートして行った参加者が元気でゴールに入ってくる。(金谷橋下の雄物川河川緑地運動公園)



大曲橋(旧金谷橋)新しく建替えの最中だ



大曲橋(旧金谷橋)の工事は力強く進行中



金谷橋の名称には誰もが馴染みを感じる



ヤマサ・公設ビル解体中(まだ懐かしい姿が残っている)

力強い
槌音が聞こえてくる!

ヤマサ・公設ビル解体の重機がうつなる。写真左下は、仮住まいの大曲商工会議所(大仙市若竹町の旧北都銀行大曲北支店)



解体された跡地には、近代的な組合病院が建つ

旬の秋田が高輪に。

Dining & Shopping

あきた美彩館
Akita Bisaikan

京急本線品川駅 JR品川駅 高輪口 徒歩3分

東京都港区高輪4丁目10-8
ウィング高輪WEST-III 1階

TEL 03-5447-1010 <http://www.akita-bisaikan.jp/>



大曲商工会議所

会頭 佐々木 繁治

〒014-0016 秋田県大仙市若竹町33番7号

TEL 0187-62-1262 FAX 0187-62-1265

URL <http://www.obako.or.jp/kaigaisho/>

エッセー

ふるさとの風



【大曲納豆汁】

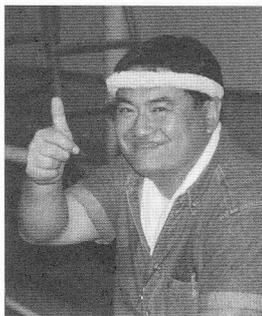
いよいよB-1グランプリ全国大会へ出展!

辻 卓也

〔大曲の納豆汁〕旨めもの研究会代表

首都圏大曲会の皆さまにはいつも私どもの活動を応援いただき心から御礼を申し上げます。ありがとうございます。

皆さまご存じ【大曲納豆汁】が、この春大きなターニングポイントを迎えました。テレビや報道でお馴染みのご当地グルメの日本一の祭典、【B-1グランプリ】に出展できることになったのです。



辻 卓也さん

この6月にご当地グルメで街おこしに取り組む団体の全国組織『愛Bリーグ』から、正会員として加盟を認めていただきました。5年にわたり、粛々と積み重ねてきた実績と、メンバーの無私の努力が報われました。私たちの活動の目的は、大曲への来客を増やし、「大曲ファン」を増やすことにより、「地域が元気になること、さらにはそんな様子を見て、地元の人たち自身が自分たちの食文化に誇りを持てるようになることです。

則ち【B-1グランプリ】に出場すること自体が目的ではありません。しかし街に誇りを持ち、全国に発信すべく情熱を持って取り組んでいる六十数団体に、仲間として認めていただき、且つ最も注目される【B-1グランプリ】に出展ができるとなれば、様々な面での影響が大きくなり、私たちの目標へと通じるステージが一段と高くなるのです。

これに合わせて、料理名を今までの『大曲の納豆汁』から『大曲納豆汁』に変更し、更に見栄えを良くするために5年前からトッピングしていた『温泉卵』と『おこげ』を廃止することも決定しました。名称変更は大曲と納豆汁を切っても切れない一くくりの単語

としてPRすること、トッピングの廃止は、見栄えを良くしたいという虚栄心を捨てて、郷土の家庭料理そのままの姿で全国に広げる事こそが本懐だという思いです。

このタイミングで初心・原点に立ち戻る事に決めました。『納豆汁で街おこしなんて恥ずかしい!』と、我われの活動に懐疑的であった人たちも、少しは見直して応援してくれるのかなと期待しています。

今年10月20、21日の両日、北九州市小倉に於いてご当地グルメ日本一を決める『B-1グランプリ』に出展し、正々堂々と我が街・大曲の素晴らしさを全国へPRしてまいります。

マスメディアに登場する機会も増えると思いますので、そんな時は『地元の若い者が頑張ってるぞ』、『大曲納豆汁は最高の食文化だ』とPR協力をお願いいたします。また、今後とも応援よろしくお願ひ申し上げます。

私の大曲

小笠原 幸子

〔すえさん〕百三年を愚直に生きた一人の女性』の執筆者、

首都圏大曲会会員)

私は故郷を持ちません。でも

母につれられて行った昔の大曲は緑豊かで、青い山脈が頭の奥に残って、いつも映画のシーンのように何枚もクルクルと巡り、目に映ってくるのです。

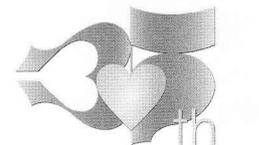
新幹線が開通して大曲は、日帰りすら自由に出来るようになり、駅前も再開発で広いロータリーが出来、昔の面影はなくなりました。しかし、従兄弟たちと河原で見物した花火、諏訪神社の天狗さんの行列、河原に出来たサーカス小屋、農業学校の動物の飼育場、小さな川での洗濯、神代杉の林、雪深い町の氷柱、ヤマサの前の24時間テレビの学生たち・・・何もかも新鮮なまま、脳裏から消えませんが。

そんな大曲が段々無くなりましたが、新しい波に乗って大きな街が出来るのは喜ばしいことです。もっと大曲を宣伝して、「稲庭うどん」ばかりでなく、農産物や加工品、おいしい清酒などをどんどん出品して、『ここに大曲あり』と知らしめてください。こちらの大手スーパーの東北物産展では、秋田県がいつも放られていて駅弁一つありません。

日本一優秀な小学生も、アピールして美しく実利的なセンスで売り出しませんか。最近では五能線や白神山地などもよくテレ

グランドパレス川端グループはおかげさまで設立35周年を迎えました

グランドパレス川端山の手ホテルフォーシーズン



2012 KAWABATA GROUP 35th ANNIVERSARY Warm Heart

『フォレスト』 葬祭 千の川 『顕彰庵』 葬祭 千の川 『沙羅』

秘境温泉 神秘の湯

自然の恵みに包まれ、満ち溢れる乳白色の湯

黒湯温泉

〒014-120 1仙北市田沢湖生肉宇黒湯沢2-11

TEL 0187(46)2214 Fax0187(46)2280

URL http://www.nyuto-onsenkyo.com

びなどで見ます。先日來訪した看護師さんに、「母は大曲出身です」と言うと、「あつ、花火！」と一発で出ました。知る人は知るです。

でも私の大曲は、『風と共に去りぬ』のヒロイン役スカールット・オハラが最後に言ったシーン「私にはターラがある。ターラ、ターラ」と叫んで顔をあげた姿と重なります。私のターラは大曲なんです。

新しい街と心の優しい皆さまにお目にかかりたく、またいつか大曲の駅舎に立とうと思えます。(おがさわら さちこ)

編集部補足

日本一優秀な小学生 平成十九年から文部科学省が実施している全国学力調査で秋田県の小学生は連続でトックラスの成績をあげ、全国から注目されています。秋田県内でも大仙市の小学生は抜群の成績で、全国各地から視察者がひっきりなしに訪れています。

あの頃の夏

大釜 茂璋

(首都圏大曲会会長)

私たちが今でも西山と呼んでいる出羽丘陵の山すそに沿って、玉川が流れている。この川は田沢湖を源流に、途中大小の

川と合流して、堂々たる一級河川となって雄物川につながる。

田圃の稲がすくすく伸びて、その上を渡ってくる風に水の匂いを感じる季節。日もぐーんと長くなって、ようやく西山に日が落ちると、蛙の鳴声が一段と賑やかさを増して、やがて玉川の方角からふわーり、ふわーり、風に乗ってホタルが飛んでくる。

ホ、ホ、
ホータル こい

夕食のすんだ子どもたちが四、五人外に出て、弾んだ声でホタルを呼んでいる。

子どもたちは昼間のうちに作っておいた道具を手に、近づいてくるホタルを待つ。道具とは、都会の子のように団扇などを手に追いかけるのではなく、土手で生育しているスカンポの穂を物干し竿の先に縛りつけた「ホタル捕り道具」だ。

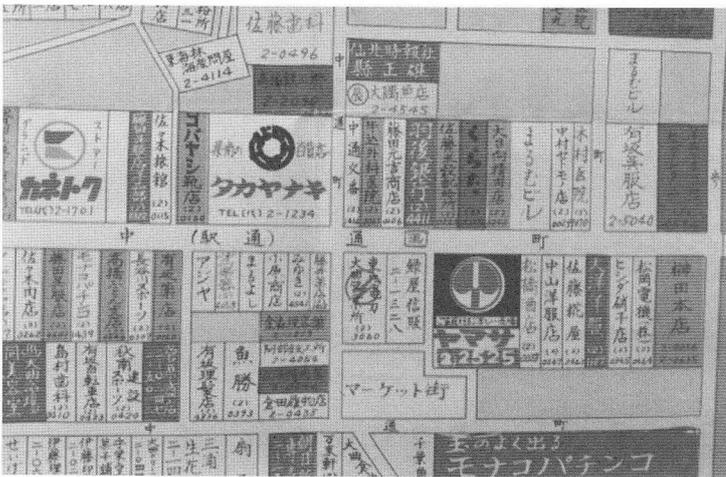
淡いホタルの光でも、黒い西山をバックにするとピカピカよく見える。それだけにちよつと空気の流れが変わると、風に乗るホタルは子どもたちが待ち受ける方向からずれて、誰もいないほうへ飛んで行くこととする。「あつ、駄目だ!。ほら、歌え、歌え」と、ホタル捕り棒を持った年かさの子が大声をだすと、

一緒にについて来た弟や妹たちが声を張りあげ歌ったものだ。

ほ、ほ、ほーたるこい
あつちの水は苦いぞ こつちの水はあーまいぞ

すると不思議なことに、子どもたちの歌声に誘われるようにホタルの群れが子どもたちのほうへ飛んでくる。案外ホタルは子どもにも人懐っこく、相性がい

いのかも知れない。
◇
近くまで飛んできたホタルは、必殺ホタル捕獲棒が一閃す



懐かしい道路案内

首都圏大曲会の会員から事務局に、懐かしい道路案内が送られてきました。現在の「花火通り」は当時「駅通り」と呼んでいました。「カネトク」、「タカヤナギ」、「有坂呉服店」、「ヤマサ」など、馴染みの店が並んでいます。人通りも多く、活気ある通りでした。耳を澄ませば、あの頃の雑踏が聞こえて来そうな気がします。(鈴木)

ると、うまくスカンポの穂に捕らまって捕獲される。たまには捕獲失敗のホタルを追いかけて子どもたちは、スカンポの捕獲棒を振り回しながら、大豆畑だろうがスイカ畑だろうが、ずけずけ入り込んできやあきやあ追いかけてまわす。翌日、明るくなつてから、その足跡から判断された一人ひとりが、こつてり油を絞られることになるのだが、追いかけている時点では、そんなこともすっかり忘れるホタル狩りだ。

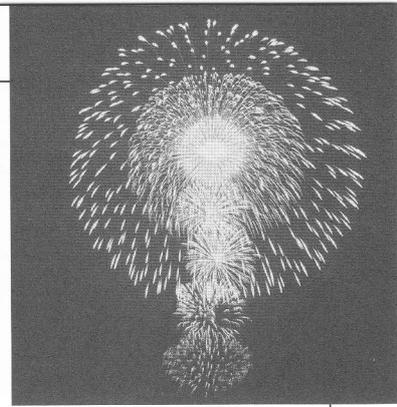
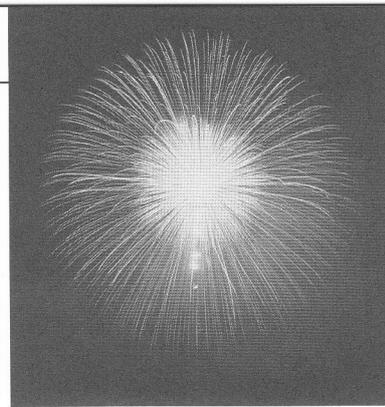
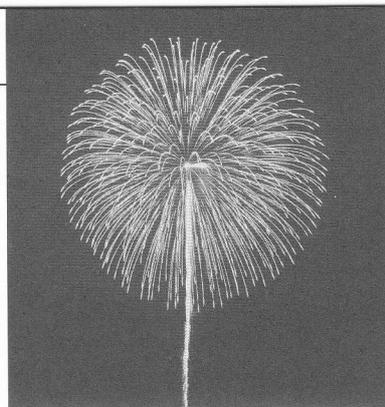
◇
当時はどこの家でも、夏の夜

は蚊除けに蚊帳を吊った。蚊帳は夏の夜の風物詩として風情がある。子どもたちは蚊帳の中で捕つてきたホタルを飛ばして遊んでよく叱られたものだ。ホタルは蚊帳の中で、ピカーリ、ピカリ、怪しげな光を発しながら飛び回る。

そのホタルを追っかけ回して子どもたちは大暴れ。大人は、とても寝ちゃいられないと、蚊帳の外に逃げ出して、蚊に刺されながら寝ることになる。

私の母は、ホタルを蚊帳の中に入れて臭いからはダメだと叱つたものだ。確かにホタルは土くさいような匂いを発するから、特に布団の中に入れるのは嫌がられた。

あの頃はまだ父も母も若かった。子どもらは我儘のし放題だったが、結構素直で元氣いっぱい。雑然とした戦後社会のこどだから何もかも品物不足。そうこうしている内に、戦地から帰還する若者たちが増えてきて、周囲は徐々に活気づいていった。誰もがほどほどに貧しかったが、それでいて社会には活力は漲っていた。老若男女、日本人の一人ひとりが志を強く持ち、そして希望と期待に胸を膨らませて生きた時代だった。(おおかま しげあき)



花火を鑑賞しながら話もはずむ

東京で大曲の花火を観る機会をつくろうと、DVDを活用した首都圏大曲会主催の「東京で大曲の花火を観る会」は、今年で3回目を迎えました。この日の参加は大曲会だけでなく、にしせんぼく会、ドンパンふるさと中仙会、嶽雄会、太田会、南外の会などから約50名に達しました。

鳳凰

大曲の花火を観る会 会場

夜空に舞う花美しく…

首都圏大曲会主催

古里を偲ぶ花火鑑賞会



ふるさと会を代表して挨拶する
ふるさと南外の会菊地均幹事長

「大曲の花火」といえば、今やどこへ行っても知らない人はいません。
昨年は三月十一日の東日本大震災の痛手の中で、各地の花火大会がばたばたと中止されることから、大曲は大丈夫かと心配されたものです。しかしそこが百有余年の伝統の上での主催者側の判断は、「こういう時こそ、犠牲者の鎮魂と被災した人々の慰めと励ましの意味を込めて」決然と開催を決定したものでした。
このような地元の熱い思いを受け継ぎ首都圏大曲会も各ふるさと会を始め、幹事各自が持つ人脈ルートを通じて、広く参加を呼びかけました。
特に今年にしせんぼく会の大沢郷地区の方々や仲間同士グループで参加し、賑やかに盛り上げてくださいました。
二〇一一年の大会テーマは「元氣な日本」。文字通り震災や



幼なじみが久々に会って話が盛り上がる

原発事故で打ちのめされた日本を元氣な姿に蘇らせようと祈りを込めた大会でした。全国の腕利き花火師二十七社が参加して、いつもと変わらぬテンポで、華麗な十号割物、音楽と組み合わせた創造花火の腕を競い合いました。毎年の呼び物として人気の高い大会提供花火は「奥州曙光（しよこう）― 悠久なる黄金の祈り」で世界遺産に登録された平泉を表現して、六分間に及ぶ光と音の演出は七十万人を超す大観衆を、遙かな幽玄の世界へと誘いました。
会は地元大仙市から取り寄せた日本酒のウエルカムドリンクで、賑やかに始まりました。
大友副会長の司会で大釜会長の歓迎の挨拶。南外の会菊地幹事長の祝辞があり、大仙市から参加してくださった総合企画課

カラオケも呼び物 酔いしれて歌う楽しさよ

花火弁当を前にして夏の
大曲を話題に花が咲く



高山知洋主査の挨拶と大仙市の
状況報告と続きました。もう花
火弁当やアルコールでほぼほ
どに、会場内はすっかり花火見物
気分になりました。
迫力ある花火の音は、座って



カラオケに溶け 込む大曲の意気

いる椅子を揺るがし、本物に比
べて劣る映像のスクリーンを補っ
て余りあるものでした。



しみじみ歌う人、自分の歌に酔っ
ている人、誰もが思い思いの世界でカラオケを楽しんでいる



歓迎の挨拶をする大曲会
大釜会長



大仙市の状況報告などをする高山主査



夏の懇親パーティーは
8月4日と鈴木副会長

「花火を観る会」のもう一つ
の楽しみは、花火鑑賞後に行う
カラオケ大会です。それぞれの
歌い手が満を持してマイクを握
れば、応援も白熱して賑やかさ
は頂点に達します。民謡あり演
歌あり、抒情歌ありポップス調
ありで、まさに大曲の意気が一
堂に会した感じ。同郷人が集ま
れば話題は自然にふるさとの語
り調、子ども頃の遠い思い出。
聴くほうも語るほうも心はいっ
かどつぷりと生まれ故郷の景色
の中に浸かっているのです。
そんなムードになれば歌も飛
び出します。澄んだ声、洪く
重みのある声、高い声やフラン
ク永井ばりの低音の魅力も。花
火と言いかラオケと言いか、丸子
橋の欄干にもたれて西山を望む

ようなりラックスした気分
まさにふるさとの大曲を偲ぶ
ときでした。
定刻四時半、鈴木副会長が
「今年の夏の総会は、納涼パ
ーティーを兼ね八月四日です」と
全員に参加を呼びかけお開きと
なりました。
**参加者全員に
アキタコマチ提供
今年も佐藤久男さん**
大仙市高関に在住の佐藤久男
さんは、毎年夏の「首都圏大曲
会総会兼懇親パーティー」参加の
全員に、わたしのこだわり米・
アキタコマチを提供してくだ
さり感謝されています。それが
昨年からは「花火を観る会」に
も提供してくださるようにな
り、このイベントに参加する
人々の楽しみにされています。
今年も佐藤さんは昨年秋季穫の
アキタコマチを提供してくださ
り参加者は大喜びでした。

第86回全国花火競技大会 (大曲の花火)

今年の大会テーマは 「つながり」

NPO法人大曲花火倶楽部

顧問 賢木新悦

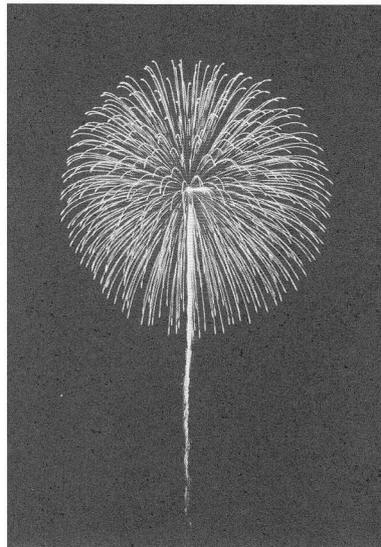
一〇〇有余の時空を越えて、今年の夏も「大曲の花火」は、八月二十五日、大仙市大曲の雄物川河畔で盛大に行われます。全国から選抜された花火師たちの腕を競うこの大会に、今年も大仙市は被災地の人々を招待して共に楽しみます。

いよいよ、第86回全国花火競技大会「大曲の花火」が迫ってきました。昨年12月に大会実行委員会を立ち上げ、準備をしまいにしました。大曲商工会議所には全国でこしかない花火振興課があります。この花火振興課は、

大曲の花火のための事務局として専門のスタッフを配置して、現在最終の作業中です。昨年の東日本大震災から早くも1年5カ月になりました。大会実行委員会では、この花火を通して、復興の協力を

地域の石巻市、宮古市、釜石市に大曲の花火を持って行き打上げを、また、8月の第85回の「大曲の花火」には宮古市、大船渡市、大槌町、釜石市の被災住民の方々を招待して花火を鑑賞していただきました。

今年も18,000発が中天の花となる



今年も大曲の花火には 被災地の方々をご招待

送迎のバスの中では、NPO大曲花火倶楽部で認定している花火鑑賞士の方々が花火の予備知識を説明し好評をえました。後日、被災者の方々から、感動し元気をいただいたとの感謝のお便りをいただきました。今年も大仙市では、被災者の方々を招待する予定です。

今年、5年毎の参加花火師の入れ替えが行われ、3増2減の28社の花火師に打上げ

依頼をさし上げ、参加していただく事になりました。全国大会にふさわしく、九州からも花火師が参加します。地元での参加は、美郷町六郷の大久保煙火製造所の大久保博氏です。

大久保煙火製造所は、秋田県で一番古い花火業者で、明治時代に始まった大会当初から参加していた老舗です。ご健闘を祈っています。

審査員に次期家元
生け花の池坊由紀氏が参加
審査委員は昨年、作曲家、



本醸造生貯蔵酒

300ml ¥378 (税込)

ひでよし——ひょうたん
お酒を注ぐ時に聞こえる「こぼこぼ」という音も、より一層お酒をおいしく感じさせてくれます。軽快な口当たりと爽快感をお楽しみ下さい。



(名)鈴木酒造店
大仙市長野字二日町9
電話0197-562121

未成年者の方にはお酒をお販売しません。

花火には人を元気にするエネルギーがある

大会の呼び物として毎年好評の大会提供花火は、「Believe」の夢を未来につなげよう。

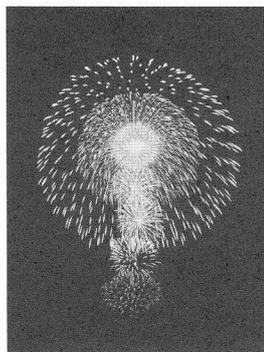
楽しく元気の出る音楽に合わせて6分間、幅550メートルのワイドスターメインです。



の千住明氏と作家の西木正明氏にお願いしました。今年新たに次期家元池坊由紀さんが審査員に加わります。花を生ける芸術性は花火との共通性があり審査が楽しみです。また、褒章に国土交通省観光庁長官賞が加わりました。日本が観光を重視する中で、大曲の花火が貢献出来ることを期待された結果と思われま

大曲農業高校創立120周年を祝う昼花火

全国で大曲しか見ることが



出来ない昼花火。競技終了後に昨年はスポンサー花火で珍しい昼花火スターメインが打ち上がりましたが、今年は午後6時に、地元大曲農業高校創立120周年記念スポンサー昼花火が打ち上がります。前年内閣総理大臣賞受賞者の紅屋青木煙火店による特別プログラムは「さあ 夢の世界へ！」です。伝統と挑戦がコラボレーションする楽しい花火をご覧ください。

大会の呼び物、大会提供花火は「Believe」の夢を未来につなげようです。楽しく元気の出る音楽に合わせて、6分間、巾550メートルのワイドスターメインが打ち上がります。

マルタ島で開催の国際花火シンポに参加

4月25日から5月1日まで地中海のマルタ島に行ってみました。国際花火シンポジウムに参加するためです。

大曲からは小松煙火工業社長の小松忠信氏、和火屋社長の久米川和行氏、北日本花火興業の5代目今野貴文氏と私の4名が参加しました。世界から300名の花火関係者が一堂に会する会議で、聴講、

視察、意見交換が出来ました。大曲からは、大会PRとして花火のDVDを持って行きましたが、多くの参加者から賞賛していただき、日本の花火のレベルの高さを感じました。しかし、打上げ機器やソフト、企画は学ぶところが多く今後の運営に活かしてまいりたいと思います。

世界共通の感動エンターテイメントである花火の発信地大曲として、市民と共に頑張ってまいりますので、応援をよろしく願います。

ゆかり
大曲に所縁のある人みんなの会

首都圏大曲会 会員募集中!

年会費：1家族千円（会報代・通信費など）です。

☆ご質問・入会お問い合わせ先

〒102-0061 東京都千代田区九段北1-1-71-304
教育情報プロジェクト気付

電話 03-5213-2028(代表) FAX 03-5213-2029

eメール：info@e-prosjp.com

古宮理絵さん (首都圏大曲会)



終了後大曲会応援団と打上げをした古宮さん(写真中央)



35,000名の選手たちと競って

早春の東京を駆け抜ける

首都圏大曲会の仲間も熱烈に応援!

第30回オリンピッククロンドン大会、男子マラソン選手選考会を兼ねた第6回東京マラソン大会が、二月二六日、東京都庁前スタート、東京ビッグサイトゴールで行われました。マラソンに賭ける首都圏大曲会の事務局次長の古宮理絵さんは、このマラソン大会に過去三回も参加しているベテラン。今年も国際色豊に三万五千名のランナーと走力を競いました。なお首都圏大曲会の仲間が友情の応援。横断幕も輝いて見える楽しく賑やかな一日でした。

東京マラソンは平成十九年に第一回大会が行われ、今年で第六回を迎えました。東京にはこれまで東京国際マラソン(男子)や東京女子国際マラソン(女子)、市民ランナーや障害者向けの10キロ走の東京シテイロードレースがありました。それを石原慎太郎東京都知事の強い肝いりで、東京マラソン大会として一つにしたものです。

大都会東京の町並みを走り抜けるマラソン大会ですから、どこを走るかはきわめて興味深いものがあります。その点東京マラソンは、東京の過去から現在を走り、そして未来の東京を象徴するコースを設定しました。高層ビルが立ち並ぶ新宿西口。東京都庁舎前をスタートに、日比谷、銀座、浅草雷門、築地、豊洲を通じて江東区有明の東京ビッグサイトをゴールにするフルマラソン。高層ビル群から江戸の名残を感じる浅草や日本橋界隈。ゴールの豊洲から東京を象徴する光景。まるで過去、現在、未来を駆け抜けた気分。

応援の横断幕で 応援団も盛り上がる

今年の東京マラソンは大曲会からフルマラソンランナーが出



写真上 ゴールも近く力走する我が代表・古宮理絵さん
写真右 完走者に贈られる栄光のゴールメダル

て、しかも地元東京を走ることにありますから盛り上がりがないことはありません。大曲会会員の小松昭二さんが黄色でよく目立つ生地に、古宮理絵さんの名前を墨痕鮮やかな横断幕を手に参加。他に大曲会からは大友副会長、鈴木副会長、佐藤重光幹事、富樫孝治幹事は月島地点で。大釜会長もスタートから六キロ地点の中央大学大学院前で、それぞれ走り抜ける古宮さんに感動しながら、「行け、行け、古宮さん」と声を限りに応援しました。

☆ ☆ 応援の声と横断幕から エネルギーを貰った

古宮理絵さんに聞く
東京マラソンは何回目の出場ですか
古宮 第一回から3回目です。走ることしかきつかけは？

古宮 市民ランナーが参加可能の、都心で行われる初の大会。ぜひ走ろうと思いました。
古宮 はい、主人が後押ししてくれて。大会当日も、防衛省前、笹川財団ビル前、築地の交差点など、地下鉄で先回りして応援してくれました(笑)
スタートはどんな気持ちですか
古宮 最初はもうドキドキ。スタートではどうなっちゃうだろうと不安になったことも。(笑)
レースで走っているときはどんなことを考えていますか

颯爽!



大河の流れのように目の前を駆け抜けていく選手たちの中に、元氣一杯の古宮さんを見つめて、「いいぞ! 古宮! ナイスラン、古宮!」と盛んに応援をする首都圏大曲会会員。写真は選手の到着を待つ一瞬。



古宮さん栄光のマラソン暦



高田城ロードレースで6位入賞

古宮理絵さんのマラソン暦は、記録では平成17年の北区ラジオ体操連盟の皇居マラソンに始まっています。その後ホノルルマラソンをはじめ海外のレースも含め数え切れ

国際色豊に 走る人!人!人の流

ない大会に参加しています。勿論第一回東京マラソン出場も果たしています。この華やかなマラソン暦の中で特に印象に残るのは、古宮さんのお母さんの故郷、新潟県上越市の高田城ロードレース大会。ここでは叔父さんが横断幕を作り、親戚がこぞつて応援してくれた大会で、見事ハーフ女子の部で六位入賞の栄光に輝いたものです。(大)

古宮 途中やゴールで待つていてくれる人のことを考えています。予定している時間までに着かなければなんて(笑)
 大曲会が応援団が結成されました
 古宮 応援団が多いと大きなエネルギーになります。今回も元気なエネルギーを貰って走りました。終わればあの仲間と飲めるなんて、ちょっと思いました(笑)
 応援の声は聞こえましたが
 古宮 ええ、とてもよく聞こえました。応援の期待にこえようとする気持ちで元気を呼び起こしてくれました。
 今回、調子はいかがでしたか
 古宮 体調は良かったですよ。天候も暑からず寒からず。会長が応援をしてくれたあたりは好調でした。浅草の折返しあたりから苦しくなる。ちょうど30キロですね。築地でみんなの応援を受けて元気になり豊洲でスピードが落ちる。特にゴール直前の上り坂は辛いですね。
 走ってみて東京をどう思いますか
 古宮 スタートの新宿都庁前からゴールのビッグサイトまで、応援する人が途切れることがないのは驚きです。そしてコースがずーっと広い道というのも東京の道路だと思えます。
 「いい走りしてるぞ!」「ナイスラン!」「このまま行けば4時間切れる」という応援もスマイルで頼もしい。出場者も多く、さすがに国際都市のマラソン大会だと思えます。

伝統の銘酒 かり穂は

大地の恵みとともに 秋田の心を醸す

平成二十三年 全国新酒鑑評会全賞受賞蔵

秋田清酒株式会社

TEL 0187 (63) 1224 FAX 0187 (66) 2277

http://www.igeta.jp/ e-mail info@igeta.jp

心と心のふれあいのスペース

大曲エンパイヤホテル

県南一のスペースを誇る大宴会場。ご婚礼・各種ご宴会・お食事・お宿泊などを揃えた シティ型ホテル

〒014-0015大仙市大曲白金町8-17
 TEL 0187-63-1131(代) Fax 0187-63-1541
 URL: http://www7.ocn.ne.jp/~empire/



川を渡る梵天は雪の中の雄物川を渡っていく

秋田県は梵天祭りが盛んな土地として知られています。昔から男性の厄年は42歳として、神社に梵天を奉納して厄を払うことを目的に行われていました。それはあくまでも個人的な厄払い行事であったものでしょうが、大曲のそれは中学校卒業の年代会による厄払いの行事として続いてきたものです。

この行事に着目したNHKの川原ダイレクターチームが一年間にわたり大曲を訪れ、梵天製作への取り掛かりからその過程、そして町内巡回から諏訪神社奉納までの一切を40分のドキュメントとしてまとめたものでした。

当初は3月19日に東北六県で放映された40分番組でしたが、番組の内容や価値が認め

められて、4月19日午後3時15分からのNHK総合テレビ「ローカル直行便」として全国放送されました。

大曲中学校を同じ年に卒業した同期生が、協力し合って梵天を作り上げていく過程では、いろいろ問題も生じ感情的な摩擦も少なくありません。なかなかスムーズに進展しないところも各所に現われます。

そこを工夫し助け合い、努力をしながら、42歳を迎える同期の男たちの心意気が、「大曲の梵天ドキュメント」42歳の成人式」となって、テレビを見る人の心を揺さぶり、若者たちのこれまで歩んで来た道々を振り返らせ、様々な経験を負った人生を共に思い浮かべ、共に涙するという感動のドキュメント番組に仕

上げたものでした。

「土屋館通信」と若者たちの行動力

首都圏大曲会がこの情報を知ったのは、大曲商工会議所青年部部長の辻卓也氏が個人的に発行しているメールマガジン「土屋館通信」によるものです。この通信は大曲の花火通り商店街など土屋館界隈の若者たちが中心となり、今度「愛Bリーグ」正会員として、「大曲納豆汁」を「Bリーグランプリ」に出展可能としたり、東日本大災害支援活動や様々なイベントで街の活性化に努力するなど、多くの実績を残していることでも知られます。

このような若者集団の積極的な活動が、梵天という地元で素朴な民族行事を、一つの感動的な行事に組み替えていく斬新さに感心し、若者たちの情熱とエネルギーこそがこれからの町おこしには絶対に必要でありかつ尊重しなければならぬものと思います。

なおこのドキュメントは5月22日朝9時から放送された【NHKワールドプレミアム】で、全世界に向け、衛星放送で放映されました。

大野源二郎さんの写真集「なつかしの大曲」を見ると、花館の川を渡る梵天が、沁み通る清澄な空気の中に男らしい勇氣と逞しさがレンズ一杯に広がっています。大仙市は、花火とともに梵天の町であることに気づきませ。今年大曲はこの町独特の、中学校の卒業年代会による梵天奉納の様子が、NHK総合テレビの密着取材で全国放送され、大曲の男衆の心意気が感動を呼び、大いに話題となりました。

大曲の年代会梵天

感動のドキュメント!

NHK総合テレビで全国放映



大曲駅1階待合室には、「川を渡る梵天」と46年年代会の梵天(右)が飾られていて、通る人の目を引いている

平成24年 ♡ 首都圏大曲会 総会・懇親パーティー

東京で大曲の雰囲気 たっぷり味わう集い

懇親パーティーでは、大曲出身で現在活躍中の芸能人や、今売り出し中の若手芸能人が出演します。お楽しみ抽選会、地元大曲の特産品即売コーナーが設置され、特に大農のジャムは毎年好評です。

日時 平成24年8月4日（土）
11時30分～14時30分

会場 東京・帝国ホテル「光の間」

会費 (1名につき) 1万円



民謡でお馴染みの千葉とし子さん



会員以外の方も参加OK。大曲にゆかりのある方ならば、どなたでも
大歓迎！

◆参加申し込み方法

①お名前・ご住所、②参加人数（できれば参加する人のお名前）、③代表者の電話番号を、首都圏大曲会事務局までご連絡ください。Fax番号、eメールアドレスでも結構です。会費はパーティー当日、会場受付で申し受けます。

電話 03(5213)2028

Fax 03(5213)2029

eメール：info@e-prosjp.com



昔馴染みが揃う会です

大曲の花火・大曲の梵天・大曲の大綱引き・川を渡る梵天・B級グルメ「大曲納豆汁」・楽しい話題がいつばいのパーティー

「ふるさと納税」を活用

本を読む子に 育ってほしい

「ふるさと納税文庫」 市内全小中学校に配置

「おりがとくひびきしま〜すと」
大喜びの花館小学校の児童たち



大喜びの児童・生徒たち

2か年事業として実施予定

大仙市にたいする「ふるさと納税」は、首都圏大曲会総会で市職員からの説明や受付場所の設営など。また会報『ふるさと大曲』でも会員のみなさんに協力を呼びかけてきました。

平成二十年から開始されたこの制度は、ふるさとを愛する人々の善意が凝縮されて、特に大仙市は県内トップクラスの成績をあげています。これまでの実績は次ページの表の通りですが、この度大仙市では「ふるさと納税」を活用して二千四百冊の図書を購入。市内の全小中学校に、「ふるさと納税文庫」として配置しました。



写真は、大曲小学校の図書室で。下は中仙小学校のふるさと納税文庫



この活用については、喜ぶ児童・生徒の映像をDVDに納めて、寄付をしてくれた八十五人に贈呈し、子どもたちと喜びを分かち合いました。映像は約四分で構成されていますが、これは市の職員が小学校に向いて、朝の読書時間や昼休みに撮影して仕上げたものです。納めた図書は昨年十月から十二月にかけて、各校の児童・生徒が、自分たちが好きな本、読みたい本を選んだもの。民話や童話、学習事典、小説、エッセイなどいろいろ。また大仙市や秋田県にゆかりの深い著者のものなども含まれていて、各校の文庫はそれぞれ特徴を持っています。

取められた映像では、「これらの文庫を設置してくれた人は優しい人です」「大仙市や僕たちを愛してくれている人たちがいることがわかりました」と弾んだ声で喜びを語っていました。

栗林次美市長

健やかな子どもの成長 と教育の充実を目指す

「・・・(前略) 昨年度、このふるさと納税を活用する初めての取り組みとして、ふるさと納税文庫整備事業を実施いたしました。本事業は、子育て教育分野の事業として、市内小・中学校における読書環境を整え、児童・生徒が広く本と触れ合う機会を増やすことにより、子どもたちの健やかな成長と教育の充実を図るとともに、自分たちのふるさとについて考えるきっかけをつくることを目的としております。(中略) また、本事業は2か年事業として今年度も実施する予定であり、本の増刷を行うことにより、ふるさと納税文庫としての確立した形をつくりあげたいと考えております」と書き、ふるさと大仙市の発展のため本制度への引き続きのご協力をお願いし、この制度の知人、友人への紹介を呼びかけています。

なおDVDは、大仙市のホームページでも動画のまご覧になれます。

平成二十三年度の寄付総額は

病院指定分含め 36件 四百十萬二千円

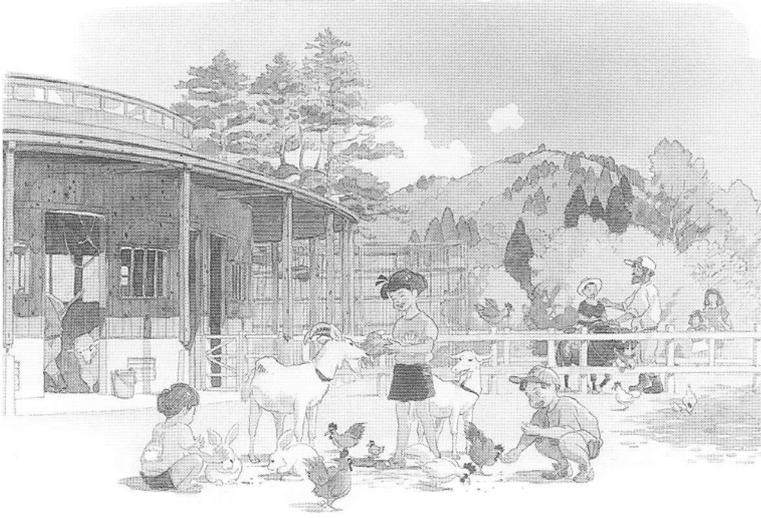
平成二十年度から実施された「ふるさと納税」は昨年度四年目が経過し、大仙市では 合計金額二千三百十八万円に達しました。今年も市は力を入れて取り組み、一層の協力を呼びかけています。

大仙市は平成20年6月に「大仙市ふるさと応援基金条例」をつくっています。この条例の第1条で「ふるさと納税」は、次のように謳われています。

「大仙市をふるさととし、応援しようとする方々から広く寄付金を募り、これを財源として各種事業を実施することにより、寄付者の大仙市に対する思いを形にするとともに、ふるさとを離れた人、ふるさとに暮らす人

ふるさがいきいきと輝くために

「ふるさと納税」にご協力ください！



大仙市「ふるさと納税のご案内」男鹿和雄さん(大仙市出身)の作品より

◆これまでのふるさと納税の状況

年度	合計		内 訳			
			通常分		病院分	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
H20	50	5,238,000	50	5,238,000		
H21	45	6,483,000	45	6,483,000		
H22	43	7,357,000	41	6,352,000	2	1,005,000
H23	36	4,102,000	30	2,872,000	6	1,230,000
合計	174	23,180,000	166	20,945,000	8	2,235,000

が共に誇れる「人が活き人が集う夢のある田園交流都市」づくりに資することを目的として、大仙市ふるさと応援基金を設置する」とあります。

またこの他に「大仙市地域中核病院整備支援基金条例」があり、これは秋田県厚生農業協同組合連合会が行う仙北組合総合病院の改築を支援する財源に充てるための基金条例です。今実施されている「ふるさと納税」もこの条例のもと、「仙北組合総合病院の改築整備に関する財源に」と用途を限定することもできます。これにより現在寄付されている「ふるさと納税」でも、二百二十三万五千円が「病院指定分」となっています。

観光・高齢者福祉など 4分野の事業で活用

「ふるさと納税」としての寄付金は、次の4分野の事業での活用が決まられています。

(1) 観光分野 ↓ 魅力ある観光資源を活用した観光交流に関する事業

(2) 高齢者福祉分野 ↓ 老いを楽しみ、地域が支える高齢者福祉に関する事業

(3) 自然環境分野 ↓ 次代に残す豊かな自然環境の保全に関する事業

(4) 子育て教育分野 ↓ 健やかな成長を願う子育てと教育の充実に関する事業

◆寄付の手続き

- 1 寄付申込書で手続き
寄付申込書に必要事項を記入し、郵送、FAX、電子メール、または直接、大仙市役所総合政策課へ
- 2 納付書の送付
お知らせ戴いた寄付の方法に基づき、総合政策課から納付書をお送りします
- 3 寄付金のお振込
最寄の金融機関など
- 4 寄付証明書の発行
市役所から後日、寄付証明書を発行して送付します

◆お問合せ

大仙市地域政策班
電話 0187(67)1111(代)

故郷でのお集まり、お泊りに
西根の湯っこで
遊ったりのんびり
喜ぶ顔がみたいから

姫神温泉

スパ 西遊喜 大曲西根字鳥居215-9
tel 0187-68-2639

記念品・贈答品などへの
ネーム挿入ご用命承ります

高橋ネーム店

社長 高橋 博子

〒014-0015大仙市大曲白金町12-24

電話 0187-62-1648





大仙市の和合地区に近い橋本に建つ秋田工場

空気が澄み、水が豊富で綺麗な大仙市には、東京を初め他地域から多くの企業が進出しています。光学レンズの設計・開発から製造まで、一貫したシステムで製品化している日邦工業株式会社秋田工場もその一つ。スキャニングレンズ、コンパージョンレンズなど、先端を走るこれらの製品も大曲生まれです。

新しい機能としての『眼』 光学レンズを創造
光学レンズ開発から製造の一貫システム

日邦工業株式会社

秋田工場

代表取締役 小俣 睦生 工場長 長澤 恒雄

造しています。当社が蓄積してきたノウハウをベースに、より高度に、より高品質を意識しています。現在は様々な新しいニーズが出現しています。そのニーズに合わせて、光学レンズの設計・開発から製造まで、一貫したシステムのもとで製品化をしています。

例えば、カメラ・ビデオ用コンパージョンレンズは、レンズ加工から組立てまで行っています。またカメラ交換レンズの加工、スキャナー用レンズの加工も当工場で行っています。

**秋田工場は63名
平均年齢38・7歳**

日邦工業全体の従業員は何名ですか。また秋田工場の従業員数は？

—— 日邦工業の全従業員数は、平成二十三年十二月末現在で四三四名です。同じく秋田工場は六十三名で、そのうち男子の従業員は三九名、女子は二四名です。平均年齢は三八・七歳となっています。

秋田工場の経営スローガン

は？

—— 感謝と思いやりです。感謝と思いやりの心をさらに磨き、内外から信頼される企業になるう！が私たちのモットーです。

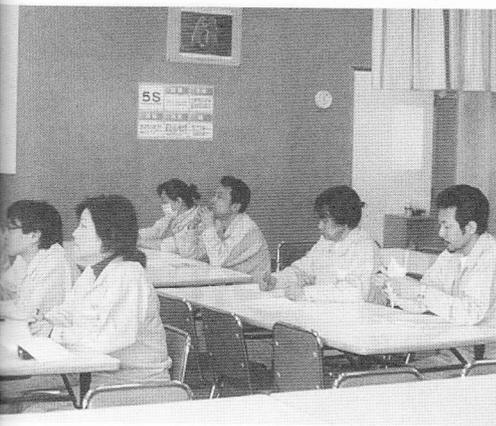
**大仙市の長所は
手厚いバックアップ**

大仙市に工場を開設してみて、その長所または短所とありますが、不便と思うことがありません。(笑) どこまで遠慮なく仰ってください

—— 大仙市の場合、バックアップがとても手厚いことです。短所と言えば、本社との距離が遠いということでしょうか。またわが社の得意先(納品先)は関東以南に多いものですから、得意先との距離感を感じることもあります。(笑)

工場開設後まだ日は新しいわけですが、社員と地元と親睦会など交流関係はありますか

—— 従業員の会として「友和会」が組織されていますが、地元のかたがたとの交流を含め、現在は特別な活動はしておりません。今後の課題となります。



大仙市への進出はいつですか
—— 平成二十二年十一月です。当社は、東京の大田区に本社がありますが、工場は群馬県の伊勢崎や栃木県の宇都宮にもあります。従って秋田工場の歴史はそんなに古くはありません。大仙市に秋田工場を設立しようとしたきっかけは何ですか

—— 前からこの地に光学関係の企業があったので、たまたま経営者の廃業にともない、事業引継ぎの話が私どもの社にあったからです。
秋田工場の主たる製造品はどんなものですか
—— 機器の『眼』としての光学レンズを創造し、製

製造から出荷まで

ガラス材料

1. 荒摺～砂掛 研磨工程の初期・中間工程。ガラス材料の表面の粗さを取り除きながら、研磨に適した寸法に削り、曲率、中心厚の制度を整える



2. 研磨 研磨工程
の仕上げ工程。レンズ表面を透明に磨き、設計通りの曲率半径をもつ球面に仕上げる



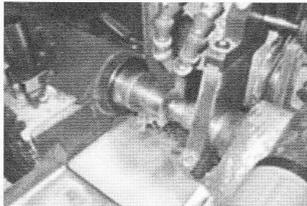
3. 洗浄 レンズの製造工程では、数回の洗浄を経て次に送られる。付着した汚れや油分を取り除く



4. 蒸着 レンズの表面に薄い膜をつけ、反射防止、透過光量等の光学性能を確保するとともに、レンズ表面を保護する。蒸着には真空蒸着機を使う。レンズの性能によって、シングルコート、マルチコートに分類される。マルチコートは薄さ0.1ミクロンの膜を平均7層コートすることにより、その性能を保持する



5. 芯取 レンズの中心と工学的中心を一致させるため、レンズの外周をダイヤモンドホイールで研削し、所定の形状寸法にする。研削には自動芯取機を使用し、レンズ光軸（中心）をホルダーに固定して研削する



6. 接合 レンズを通過する光の色補正、画像の湾曲習性等のため、2～3枚のレンズを張り合わせる。



社員研修もしっかり行われる



秋田工場は今後
一〇〇名規模へ

秋田工場として今後の目標、新しい展開などをお聞かせください

— 今現在の課題として、今後の事業拡大に向け、設備改善・技量UPが優先課題となっております。秋田工場としては、一〇〇名規模での生産体制を考えております。

有難ございます。この大地で、今後益々のご発展をお祈りします。(大釜)

接着剤を塗布し、仮接合の後、特殊な顕微鏡で合成されたレンズの光軸を合わせる。その後、紫外線により、接着剤を完全硬化させる



7. 組立 加工されたレンズを、金属や樹脂の鏡胴に組み込む。正確さとスピードが要求される



出荷検査・梱包



出荷

“魚と遊んで遊ばれて”

本社

新木場工場

新砂工場

ビル事業部

トトヤ
魚屋の
おやっ
つてま
す

ふるさ
との
みな
さん
お元
気
です
か

〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目8番5号 電話03-3640-6411(代) F A X 03-3644-5832

おかげさまで
創業45周年

45th
21世紀へ



東京水産工業株式会社

会長 佐藤重光

◇ふるやとの昔ついで

鮭さけ地じ蔵ぞう

文 平野栄司
切り絵 塩谷良二

大曲の町に屏風を立てたような西山。その山の裾を音を立てて流れる雄物川。この川には毎年、群れをなして鮭がのぼってくる。ところが、日照りの年が続いて川の水が少なくなり、その頃から鮭の姿がぜんぜん見えなくなってしまう。そこで漁師たちは・・・

伊豆山いずさんの下を流れる雄物川おものがわのナダラ渕ふちで、鮭漁さけりょうを

して水死すいしする者が毎年まいとしのように続つづいた。

そのため漁師たちは、死者ししゃの冥福めいふくと漁の安全を

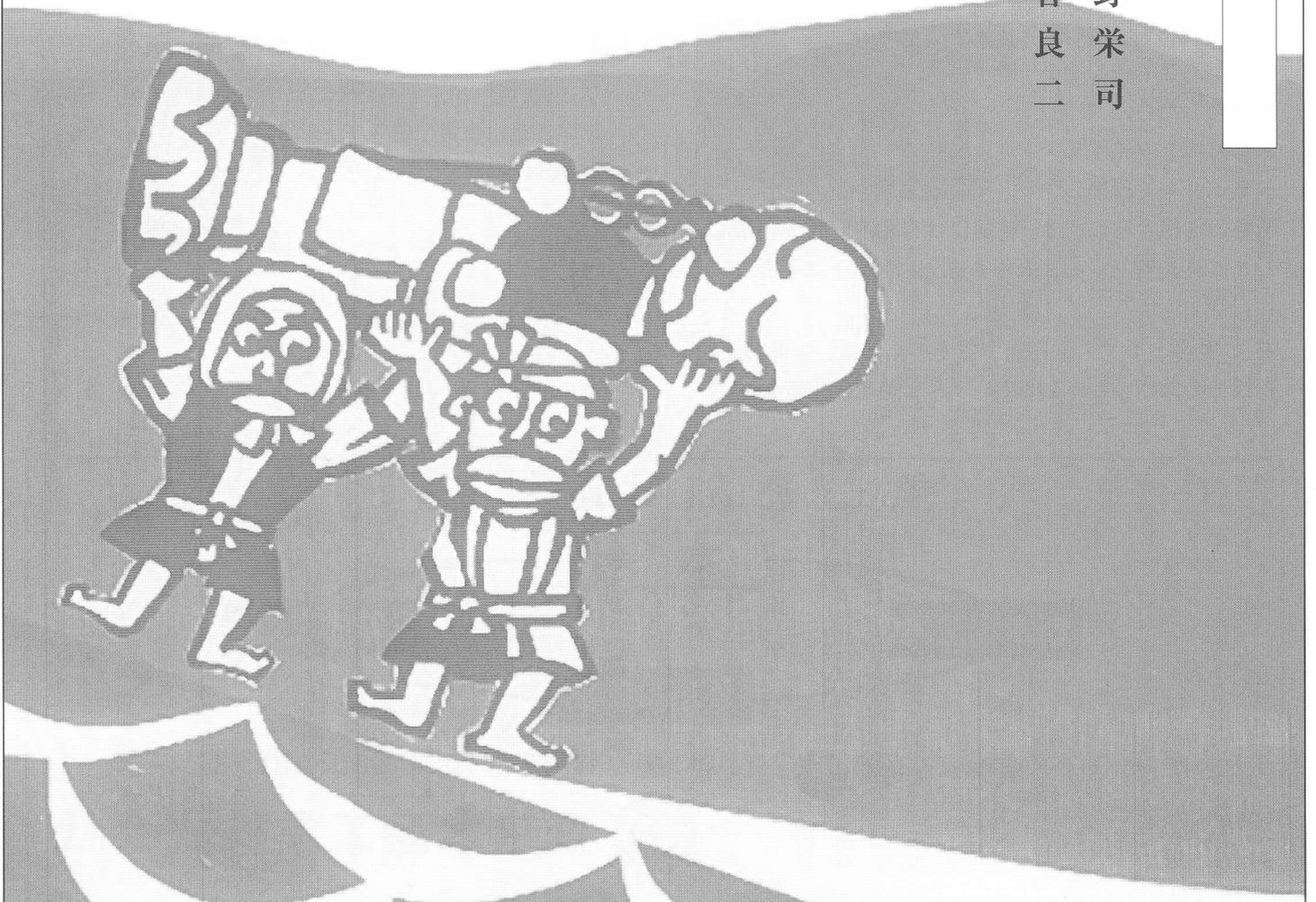
祈いのって、その岸に地蔵様じぞうさまをまつることにした。

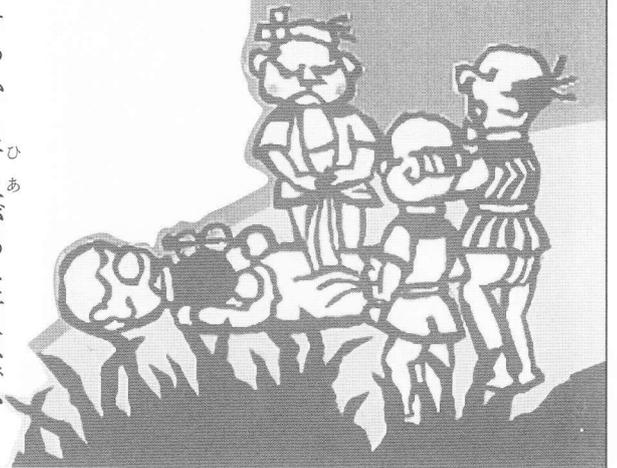
ところが花館いしくの石工いしくが刻きざんだ地蔵様は漁師たちの

気に入いらず、川に投げ捨すてられてしまった。

その後日照りひでの年が続つき、川の水が少なくなり、

鮭さけがのぼってこなくなった。↖





ある日、すっかり干上がった河原で、

汚れた石の地蔵を見つけた

漁師たちは、

反省するどころか地蔵を踏み蹴飛ばし、

あげくに、「鮭がのぼらなくなったのは

お前のせいだ」と小便をひっかけた。

すると とたんに黒雲が湧き出し、

大雨となり、川水が見る間にふえて、

鮭がのぼってくるようになった。

このことがあつてから日照りの
不漁が続くと、

漁師たちは この鮭地蔵にひそかに

小便をかけて大雨を降らせ、

鮭の豊漁を祈願し続けたという。

長沢神社の地蔵さんが

それである。



首都圏大曲会

羽ばたく 若者たち

大曲で生まれ育ち、やがて東京へ出て自らの道を切り開こうと努力する姿は美しいものです。前号で紹介の、津軽三味線で大成を目指す畠山一洋さんに続き今号では、裸身一貫で落語の世界に飛び込んだ三遊亭小曲(さんゆうてい こまがり)、本名伊藤匡紀(ただのり)さんにインタビューしました。(大釜)

(お知り合いの中に、本ページに該当すると思われる方がお出ででしたら、ぜひ首都圏大曲会事務局まで、電話または電子メールでご紹介ください)

― 生まれは大曲のどちらですか。

小曲 大曲の上町ですから、諏訪神社の裏側になります。大川寺や秋田修英高校の近くです。今年二十歳になります。

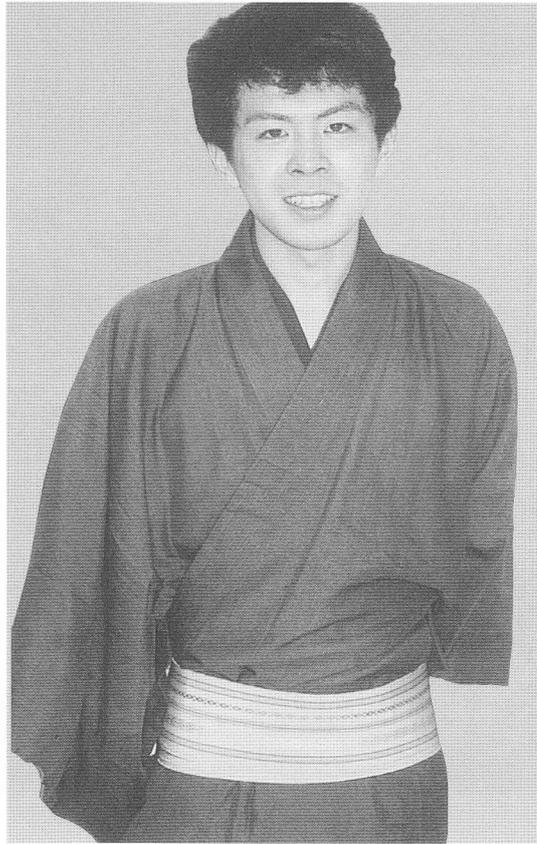
― 秋田県生まれが落語の世界に入るとは珍しいですね。きっかけは?

小曲 中学卒業後大農に入りまして。それでどなたを招いた?

― それでどなたを招いた?

した。僕はのんびりした雰囲気が好きで、大農でも太田分校です。大農には有名人を招いてお話を聞くといい、恒例の学校行事があったのです。これは本校も分校も一緒になって聞くことになっていきます。

― それでどなたを招いた?



真打めざして精進する

三遊亭小曲さん

さん ゆう てい こ まがり

初めての高座は末広亭で “寿限夢”をやりました。

「一生懸命に修業して、先ず目標は二つ目への昇進です。それをクリアしたら真打を目指して頑張ります」

小曲 たまたまこの年は「学校寄席」として三遊亭小遊三師匠、今では私の師匠ですが、大農に来てくれたんです。全校生が聞きました。でも、テレビの「笑点」に出ている落語家ぐらいにしか思っていないくて・・(笑)

― 出し物は何だったんですか。

小曲 古典落語でしたから、たしか「浮世床」だったと思います。みんなは「笑点」の回答者だと甘く考えていたんですね。

ところが落語が始まると、もう誰もがその話の中にぐいぐい引き込まれていくんです。会場の体育館はシーンと静まり返り、肝心の落としどころではもう大爆笑。全校生一人ひとりがお腹を抱えて笑いました。

これが話術というものか。これはすごいものだ、ぐったりと疲れるほど笑ってその後は、ただただ感動が残ったのです。

― その感動があなたを落語家の道へと誘ったということですね。

小曲 その後私は太田分校を中退し、一年間フリーターをしていました。そして何かしつかりしたものを身につけようと、あの時の小遊三師匠の感動が強烈で、父親が運転する長距離トラックに便乗して上京し、その足で師匠の門を叩きました。17歳の一月のことです。

― すぐに入門できた?

小曲 当然門前払いを覚悟していました。ところが当時10代の

弟子志願は珍しかったらしく、「ちょっと見ていったら」ということになったのです。(笑)

― 小曲の芸名は大曲出身だから?

小曲 おかみさんが岩手県沼宮内の出身です。東北人のよしみで、大曲出身の私を小曲と親しみを込めて呼んでくれて。それを師匠が聞いて、「よし、お前は小曲だ」となったのです。(笑)

― じゃあ、名付け親はおかみさん?

小曲 はい。(笑) おかみさんには今も頭が上がりません。

― 今は前座ということですか。

小曲 ええ。前座はいわゆる丁稚奉公みたいなもので裏方で。毎日が修業で、料理、お掃除、師匠の身の回りの世話、何でもやって、その合間に落語の勉強です。他の師匠たちの楽屋話を聞くのも勉強。前座は何かの理由でプログラムに穴があいたとき、突然「お前、やってみる」ということもあり常に緊張です。

― それが芸人の修業というものです。ところで将来の夢を。

小曲 一生懸命修業を積んで二つ目になり、そして真打になって、早く師匠やおかみさんに恩返しをしたいと思っています。

― しっかり修業して、日本の伝統文化である落語の発展に頑張ってください。首都圏大曲会も、小曲さんが真打になる日を楽しみにしています。みんなで応援しています。

首都圏大曲会

会員のひろば



仲間を訪ねて

俳句づくりを楽しむ

大友律子さん

(俳号 朱華・首都圏大曲会副会長)

俳句はいつ頃から始められましたか？

朱華 ごく最近、五年ほど前からです。

所作もわからないまま、職場で「あなたならできると」などとおだてに乗って(笑)

勤務する國學院大学の俳句同人会に所属されていますね

朱華 亜州馬路(あしゅまろ)という会のメンバーです。学生中心のサークルですが、教職員も一緒に、楽しみながら学生との交流が出来ます。

大友さんの「朱華」という俳号は素敵ですね

朱華 俳号は顧問の先生がつけてくださるのですが、最初はモグラとかいう古典表現の語だったのです(笑)。学生に笑われたり。「え！そんな名前はいやだ！」と、先生に直訴して(笑)五つぐらい考えて頂いた中から、綺麗で素敵な朱華に決めました。その後はこ

の俳号に支えられて、句づくりが充実してきました。面白いものですね。

同人の構成は何人ぐらいですか

朱華 現在会員は、学部生と院生で十二名、教職員五名です。それに卒業生が数名加わります。学生は文学部の学生が多く、言葉をとっても大切にします。素晴らしい表現力、何と言っても若々しさに刺激されます。

俳句が生まれるときは、どんな心境、またはどんな環境に身を置いたときですか

朱華 句会は月一度。兼題の発表は四五日前です。だからいつも切羽詰った状態でつくることが多いです。朝の混雑した電車の中で、指を折りながらつくっています(笑)また月例の句会とは別に、年度末に発行の「句集」に21句を準備しなければならぬので、今はそれを意識しながらつくるようにしています。

不思議と、時間がないときにひらめきますね(笑)

吟行などは・・・

朱華 吟行は学生の勉強会の意味合いが強いので参加していませんが、旅行をしたときなどは旅情に浸るせいか、一つ二つは自然に頭に浮かんできてはメモることがあります。

最後に自作の句で、お気に入りの一句をご紹介します

朱華 若人の離りし祝う春隣り(わこのどの さかりしいわう はるとなり)

お忙しいところ有難うございました。ますます感性を磨きご精進をお祈りします(大釜)

こまち物語

作詞 黒皮羽生
作曲 平野桂三

生まれ在所は 出羽の国
ほまれ名高い その美貌
小野小町と 申します
風も七色 花の季節
ご縁万端 あざかりまして
走れ輝く 未来を乗せて
走れふれあう ぬくもり乗せて
貴婦人こまちは 秋田発

お国自慢じゃ ないけれど
旅をいざなう 田沢湖の
水の藍さよ その深さ
お武家屋敷は 角館
月も十六夜 枝垂れる桜
音と光が 夜空を焦がし
世界一だよ 雄物川の晩夏
創造花火の おおまがり

稔る稲穂の 竿灯も
ゆれて川反 夜の街
秋田言葉も なつかしく
おぼこほんのり 恋模様
一度お出でよ またもう一度
走れ輝く 未来を乗せて
走れふれあう ぬくもり乗せて
貴婦人こまちは 秋田発

作詞の黒皮羽生は、首都圏大曲会会員で幹事。東京水産工業株式会社社会長。作詞した「東京海峡」初め数々の作品は、第一興商のDAMに入っています。

母の日に
大寒や着ぶくれしても未だ足りぬ
君旅立ち春隣と句を読みて
友誘ひ目黒川べり花吹雪
富士を観た卯月初めの嬉しさや
母の日に元気で居ると声送る
アジサイの散り敷きし路地みぎひだり
星祭り会ひたい君へ笹飾り
名月やネオン寂しき銀座かな

母の日に

朱華

三春滝桜

樹齡千年。日本の三大巨桜の一つとして有名



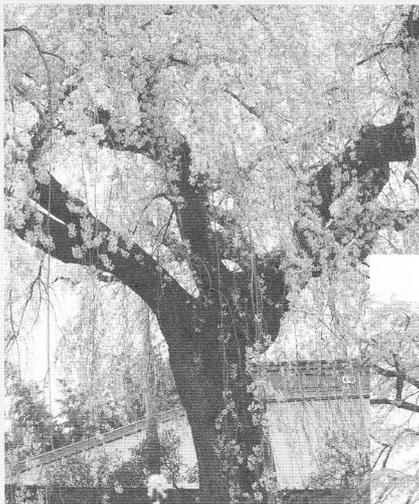
カメラ紀行

絢爛！桜巡りの旅

◇撮影・旅人
斉藤 貞助

ひだれ桜に埋まる福島路

早いものであの災害から一年余が経過した。まさに未曾有の悪夢と化した災難だったが、この地に住む人々は粘り強く逞しく、この困難を乗り越えようとしている。巡りくる季節は、今年も穏やかな花のときを迎えた。『桜巡りの旅』― 何ごともなかったかのように、桜の里はどつぷり花に埋まっていた。鳥啼き、風がわたる。この春、福島の桜は復興のシンボルと化した。叡智と勇氣、そして優雅さを秘め、前へと誘う希望の花である。



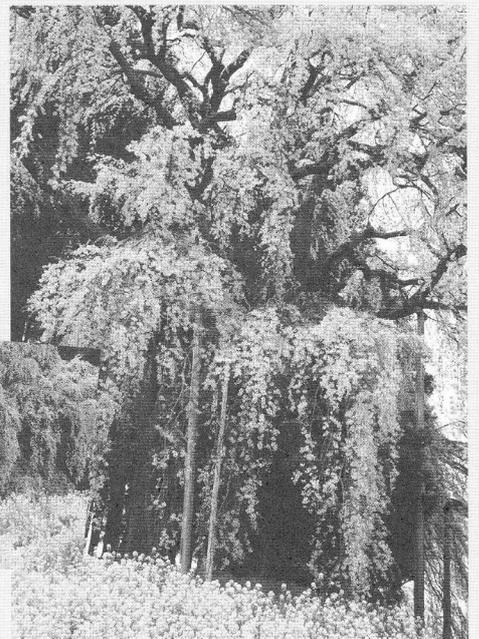
大聖寺の紅しだれ桜

大聖寺は、建立700年余の古刹。境内に立つ紅しだれは、空一杯に枝を広げて空をおおう



地藏桜

滝桜の娘といわれるベニシダレサクラ。樹齡400年の一本桜で威風堂々の風格がある



合戦場の桜

寄り添うように立つ二本の桜。別名「めおとざくら」ともいわれる

『ふるさと大曲』

首都圏大曲会会報第13号
平成24年8月4日

編集人:首都圏大曲会
発行人:大 釜 茂 璋

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-1-7-304
教育情報プロジェクト気付 首都圏大曲会事務局
電話: 03-5213-2028 Fax: 03-5213-2029

e-メール: info@e-prosjp.com http://www.supportlife.info

表紙撮影:藤田征一 印刷・製本:秋田協同印刷株式会社

首都圏大曲会の情報は、ホームページでもご覧頂けます。

(大仙市のホームページともリンクしています)

<http://www.supportlife.info>

平成二十四年度

首都圏大曲会幹事一覧

会長 大釜茂璋

副会長 大友律子

副会長 鈴木繁

事務局次長 齋藤貞助

事務局次長 古宮理絵

幹事 浅野悦洋

栗津正博

小松美智子 (監事)

佐藤重光

佐藤健 (監事)

渋谷一男

高橋映里子

築地良仁

富樫孝治

◆ 首都圏大曲会事務所

〒一〇二一〇〇七三

東京都千代田区九段北一―一七―三〇四
教育情報プロジェクト気付

電話 〇三(五二一三)二〇二八

FAX 〇三(五二一三)二〇二九

☎メール: info@e-prosjp.com

編集後記

▼ 梅雨に入っているというものの、特に九州など西日本各地の豪雨は凄まじく大きな被害を与えています。被害地の皆さまには心からお見舞い申し上げます。昨年来日本列島を襲った数々の自然災害には、私たちの気持ちまで打ちのめされます。こういうときこそ人と人の絆を大切に、助け合い精神で乗り越えていきたいものです。▼豪雪だったというこの冬の冬の大曲でしたが、人々は雪山を愛で、雪の生活を楽しみ、季節が巡ると咲く花に季節の到来を知り、春の喜びを精一杯味わいます。「大曲の四季―早春から夏への移ろい―大曲在住の藤田征一さんに写真取材をお願いしました。▼組合病院の新築作業が急ピッチで進められています。ヤマサ・公設ビル解体の写真を見るにつけ、賑やかだった駅前地区の光景を思い出します。生まれ変わってこの界限は、組合病院を中心に福祉関連施設が集結すること。これまでと違った、落ち着きある地域に生まれ変わることでしよう。「ふるさと納税」から病院建築指定分が二百二十三万円強になっています。「ふるさと納税文庫」新設とともに、意義ある用途に納税者も満足です。▼「大曲の花火」は今年で86回目を迎えます。大曲花火俱樂部顧問の賢木新悦さんに今度も寄稿頂きました。今年も東日本大震災被災地の方々をご招待するとあります。花火には人を元気にするエネルギーがあると賢木さんは書いています。東京では首都圏大曲会主催の「東京で大曲の花火を見る会」が、この春3回目の鑑賞会となりました。▼首都圏大曲会の総会と懇親会を兼ねたパーティーは8月4日、いつものように帝国ホテルで開催されます。どうぞご家族やお友達と誘い合い、お気軽にご参加ください。(大釜)

憩い

安らぎ

癒しの宿

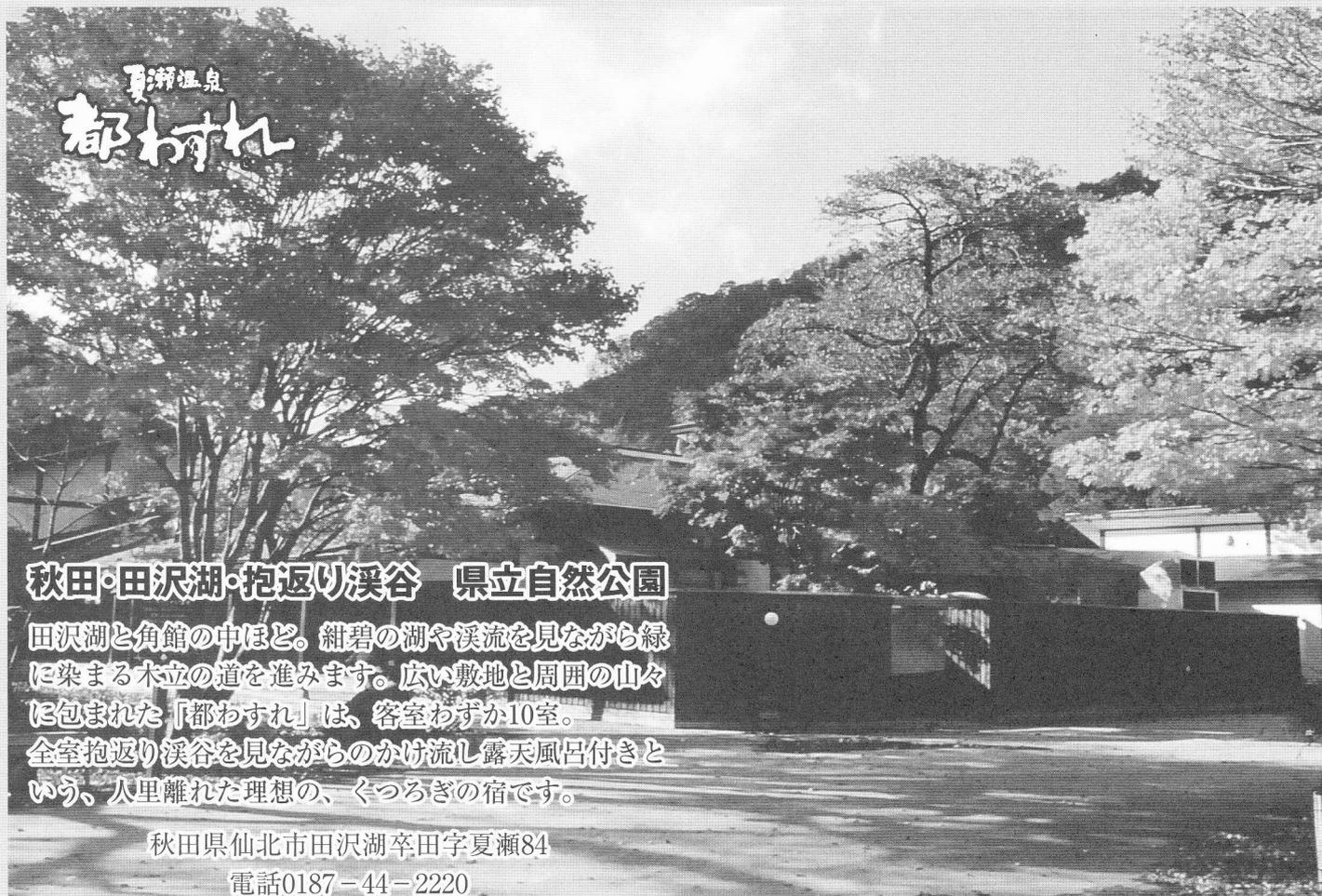
秋田・十和田湖・八幡平国立公園

ここ乳頭温泉郷は、七湯の、素晴らしい良質の宿が点在しています。中でも妙乃湯は、関西から見た東の「金泉・銀泉」の二源泉を併せ持った誇れる宿です。また、こじんまりした秘湯の素朴さ、古きに新しさのバランスを備えた趣のある宿として大変喜ばれています。

秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳2-1
電話0187-46-2740



乳頭温泉郷 金の湯 銀の湯
妙乃湯温泉



夏汗温泉
都わすれ

秋田・田沢湖・抱返り溪谷 県立自然公園

田沢湖と角館の中ほど。紺碧の湖や溪流を見ながら緑に染まる木立の道を進みます。広い敷地と周囲の山々に包まれた「都わすれ」は、客室わずか10室。全室抱返り溪谷を見ながらのかけ流し露天風呂付きという、人里離れた理想の、くつろぎの宿です。

秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬84
電話0187-44-2220